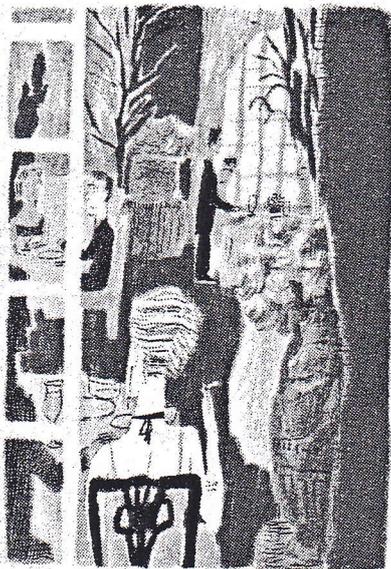


世界二十九都市を舞台にした  
インテリジェンス、そして……  
中江有里

## ライオンと蜘蛛の巣

手嶋龍一

Teshima Ryuzhi



幻冬舎

ライオンと蜘蛛の巣  
手嶋龍一

幻冬舎

平積みされた本書を書店で見かけたとき、「手嶋龍一さんといえばあの『ウルトラ・ダラー』の著者。次回作はファンタジーか」と勝手に思いこんでしまった。まるで絵画のような装丁に童話風の題名、しかし帯にはしっかりと「インテリジェンス」の言葉が躍っている。むむ、やっぱりインテリジェンス情報小説か。ノンフィクションのようなフィクション「ウルトラ・ダラー」の登場には圧倒されたが、インテリジェンス小説は男性のもの、といった感がどこかに付きまとっていた。さて今回はどんな風に驚かせてくれるのか。

本書は世界二十九都市を舞台にした一風変わった紀行文だ。軽妙洒脱な筆致、本当にこんなことあるわけ？と疑いたくなるような旅がずらりと並ぶ。中でも、著者が旅先に赴く前に奇妙な手紙が届く「注文の多い宿」とりわけ印象深い。

「わが館の主人は香りアレルギーにつき、当

地に到着される二日前から香水はいうに及ばず、香料を含んだ石鹼やシャンプーそれに整髪料の類もご使用はかたくご遠慮いただきたく存じます」

宮沢賢治の「注文の多い料理店」を髣髴させるこの宿は実際にアイルランドにあるらしい。その証拠にエッセイの巻末にちゃんと住所も掲載されている。想像するに素晴らしく良さそうな宿だが、現地に辿りつくまで著者ほど神経質に無香料を貫く自信がないので多分一生行けない気がする。

しかしこの本の魅力は、このようなファンタジー色強い旅だけではない。やはり通低するのはインテリジェンス。

ロンドンのウエスト・サセックスのマナーハウスに招かれた著者は、同じく各国から招かれた客人たちと世界の情勢について意見を交わす会合に参加する。アフタヌーンティーのカップを手に著者の元へ近づいてくるのは中国の外交官。その穏やかな物腰は世間話でもするかのようでいて、実は日中両国の戦略問題についての意見を交換しようというのだ。映画のワンシーンのようなインテリジェンスのやりとりに思わず背筋が凍りつく。まさか冷戦の前触れか。こんな場面、一生わたしの人生とは無関係と思えるのに、読んでいるとなぜ興奮してしまうのだろうか。

また大国アメリカに対する言葉は鋭い。著者はワシントン在任時に勃発した同時多発テロの日本へのテレビ中継を連続十一日間担ったことでも有名だが、あの悪夢のようなテロを、海を隔てて見聞きしたわたしには、現地で状況を伝える著者の恐怖がどんなものか想像しえなかった。

「なぜか恐怖心は希薄だった」本書で著者はそう語る。その言葉の続きを読み進むうちにわたしはほんの少しだけ、著者のスタンスを感じ取ることが出来た気がした。

著者の視線はどんな場所にあってもワールドワイドで常に地平を見つめている。丸い地球上の地平なのだから、究極に言えば自分が立っているところに視線は戻ってくる。著者が垂れる細い蜘蛛の糸を束ねたような思索は百獣の王にたとえられた大国をも捕らえてしまうのだ。

「この子らにも、あなたのように自由に旅行をさせてやれることができれば、どんなに素晴らしいだろう」

ブダペストの列車で著者が乗り合わせた少年の母はそう言った。自分の行きたい所へ行くといいふつうの願いがかなわない国で生きる少年もまた、わたしと同じ人間だ。

日本という海に囲まれた島国で生まれ、アメリカの庇護のもとで暮らすわたしという人間は、インテリジェンスのイの字にも触れる

機会はないだろう。だが本書を通じて著者の世界のエッジをえぐる矛先にせまり、その鋭い舌鋒に圧倒されながら、一方でふわりと世界を包み込むようなエピソードに酔いしれる。ワシントンでの生活を終え、帰国準備の為にムービングセールという引越し市で家具を売ることにした著者は、新聞広告とあわせ手作りポスターに「日本人の引越し」と銘打つ。

日本人の引越しはメイド・イン・ジャパンの掘り出し物が出ると評判らしい。ポスターの効果絶大で早朝から殺到したセールの客はフランス人外交官一家に、ヒスパニック系、アジア系とさまざま。石鹼と間違えて切り餅を買った客からのクレームには、必死に餅を擦って泡立てようとする姿が思い浮かんで苦笑い。売るつもりもなかったソファセットを強引に譲ってほしいと交渉してきたイラン人夫婦に根負けした著者の元に、その数日後イラン人から食事の招待状が無い込んだ。移民国家であるアメリカならではのエピソードだ。アメリカに亡命してきたイラン人夫婦たちから遠い祖国の話聞きながら、イランの味に舌鼓を打つ。世界は鋭利なインテリジェンスだけではなく、こうした名もなき人々の土台の上で成り立っている。そんな不思議な人と人の交わりへの視線は、とても優しい。